

高校生国際 ESD シンポジウム 2015・第 1 回 SGH 生徒成果発表会

平成 27 年 11 月 18 日水曜日、筑波大学文京校舎にて筑波大学附属坂戸高等学校主催の高校生国際 ESD シンポジウム 2015、第 1 回 SGH 生徒成果発表会が開催され、本校国際コース 1 年生の代表生徒 3 名が参加しました。インドネシア、タイ、フィリピンからも 4 校が参加し、プレゼンテーションをはじめ、司会進行、質疑応答等すべて英語で進められ、とても国際色の強いシンポジウムとなりました。

主催している筑波大学附属坂戸高校と前述した海外の 4 校が、持続可能な発展や食品不足、食品廃棄の問題点などをそれぞれ独自の視点から調査し、解決策を発表しました。パワーポイントの使い方や、膨大なデータをポイントごとにわかりやすくまとめた発表は、とても高校生が作り上げたとは思えない完成度の高さでした。春日丘の生徒たちはレベルの高さに驚きを隠しえないようでしたが、自分たちもやればできるのではないかという期待感も持った様子でした。

午後からのポスターセッションは、午前のプレゼンテーションを行った高校も含め、すべての高校が参加しました。各学校の SGH への取り組み方や、どんなことをしているのかを学ぶ上で非常に有益な時間となりました。春日丘の代表生徒 3 名は、順番に海外の高校のポスターセッションを周り、英語でコミュニケーションをとっていました。春日丘高校のインドネシアのガス・学校についてのポスターセッションにもたくさんの方がお話を聞きに来てくれました。生徒たちはこれからの自分たちの学習におけるヒントや修正点を学べたようで、非常に勉強になったと満足していました。

プレゼンテーションとポスターセッションを通して感じたことは、データ収集にかける時間が多く、また、インターネットを媒体とした情報よりも直接自分たちで現地へ行ったり、当事者へインタビューして得た情報が多く使われているように感じました。海外の高校生のアイデアに関しては、「高校生の自分たちができること」を念頭に置いているのが強く感じられました。このシンポジウムを通して、他校の SGH の取り組みが分かり、今後の自分たちの取り組みに大いに役立つ情報をたくさん得ることができました。

